



暑中お見舞い 申し上げます

平成27年盛夏



〒 349-0101 蓮田市黒浜3111-2

大畑電研株式会社

代表取締役 **大畑善夫**

TEL 048-769-1191(代) FAX 048-768-0718

E-mail ohata@ohdk.co.jp http://www.ohdk.co.jp/

電気情報

省エネ器機への補助金

4月の上旬、耳寄りな情報が飛び込んで来ました。既存の事業所でLED照明とか、エアコンとか省エネ効果のある設備をした場合、国から補助金が50%でるといのです。補助金がなくても、LED照明は従来の蛍光灯器具の半分の消費電力で、エアコンも十数年以前の機種と比較して消費電力が半分になるケースもあり、既に改修した企業も少なくない状況です。それに更に半分の補助金ができればお奨めしたいお得意様が何社も思いあたります。それなりの手続きがありますので早速数社に連絡しました。その時点で訝しく思ったのは補助金対象が工事費込みのB類型と器機の50%対象のA類型があり、補助金が多いB類は公募期間が3月16~4月15日で締め切られたということでした。



幸いA類型は公募期間が3月16日から12月11日まであり急いで申請すれば間に合うかも、ということでした。数社の意向をうけ、現場調査見積り申請書類の作成に掛かりましたが結果的に間に合いませんでした。実質的には4月17~18日で締め切られたようです。公募受付が3月16日なのに何で1ヶ月も遅れて私達の工事業界に知らされたのか疑問です。

照明器具はここ数年格段の進歩をしました。

花形はLED器具です。デビュー当時は寿命が長いのがウリでした。総合的に見てインバータ器具に劣りましたが当初から宣伝が過剰でした。この偏向したPRは某民放テレビJ・Tの販売の口上に似ていました。言ってる事に嘘はないのですが、都合の悪いことには触れないのです。

都合の悪いことというのは、①消費電力に対しての比較が旧型の蛍光灯、1W当たりの光束lm/w(ルーメン・パー・ワット)70lm/wとの比較で、既に100lm/wを超えているHF(インバータ器具)とせいぜい同等でした。それで当社がお客様に薦めたのはHF器具、又はWエコ(その後話題にならなくなった)でした。総合的見地から見ての省エネ効果というのは寿命だけでなく、消費電力、照度、価額、光の質、経年変化、安全性です。そして何より価額でした。面白い事に既存のよくある40W2灯タイプの交換用には当初三通り用意されていました。

(A) 消費電力が半分になる低価額品で省エネ効果のあるものの設置後明らかに暗くなるのが問題でした。

(B) その上の器具で消費電力差はアップし劇的省エネ効果はないが、少し暗くなるが意外と気がつかない。なぜなら既設の器具は経年変化(光束の減少-寿命前には20%減少している-ヨゴレなど)で既にある程度暗くなっているという某メーカーの講師の弁でした。「でも、それはサギ臭くないですか?」私。

(C) その上の機種でこれを選定すれば照度は落ちませんが経済効果が望めない省エネ効果のないものでした。これが当初のマンガ的状況でした。

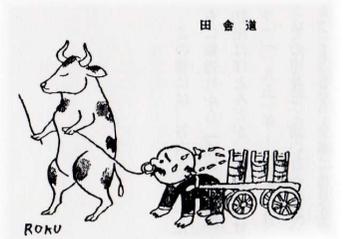
ところが現状のLED器具は大幅に改善され、価額も適正感のあるものになりました。

エアコンも同様です。古いエアコンの消費電力は倍です。使えても交換して得な場合もあります。その後も幾つかの補助金制度もあります。

『纏め』現在のLED器具は既存品と同等以上の明るさで消費電力は半分、寿命4倍です。

水銀灯は同じ明るさで消費電力3分の1以下! 蛍光灯より劇的効果があるのは元々水銀灯の照度効率lm/wが40~45lm/wと効率が悪かった為です。但し、同じ水銀灯の仲間でもトンネルなどで使われているオレンジ色のナトリウム灯は元々120lm/wと高効率なので照度効率では差がありません。マルチハロゲンもこれに準じます。

何れも、電源が交流から直流になり直流電源装置が要りますが一般の水銀灯の場合特にお勧めできません。



消防情報

長い間(四十年以上)電気工事業と消防設備業を併業してその差違として痛感するのは、時として、場所により、人により、消防行政が民は愚かにして賢い官が監視、指導するというトップダウンの官指導型になることがあります。法の精神として消防法と建築基準法(電気設備は建築設備に含まれる)の第一条はほぼ同じです。

建築基準法第一条 … 国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。… 消防法第一条もまた… 国民の生命、身体及び財産を火災から保護するほか、社会公共の福祉の増進に寄与する目的とする。

国民の福祉という点では同じですが、建築基準法は生命の次ぎに健康を重視していますが、消防法は火急の際である。健康はその次ぎ、という考えで一見尤もなことである。

ただ、これが法の為の法になると別。江戸時代の悪法と言われた【生類憐れみの令】はその過ぎたる例である。その時代、犬は食用になり、百姓、町人は人間扱いされなかった時代であったという。綱吉のやや観念的な思惑が取り巻きの執行者によってエスカレートしたのだという説もある。

その具体的例を上げます。質問者をQ。対応される官吏のタイプを仮にY氏、O氏とします。(昔CMで貴方は狼派それとも羊派というのがありました)

Y「書類取りに来て下さい」

Q「返信用の封筒を送りますので、郵送して貰えますか。」

Y「いいですよ」

O「ダメです。認めません。とりに来て下さい」

Q「消火器を一本増やしました。設置届け、立合検査が要りますか？」

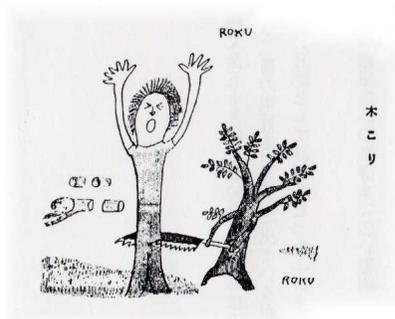
Y「写真を持ってきてくれればいいです」

O「数量にかかわらず設置届。試験結果報告書。四日以内の立合検査が必要です」

Q「お客様が勝手にホームセンターで買い設置しました」無資格者です。どうしたらよいですか？」

O「
」

因みに東京消防庁管内は物件が多いせいか、人手の関係か書類手続き、立ち合い検査等必要最小限度で統一制があります。予め、その地区、人間性を理解して対応すれば二度手間は少ない。地方都市の予防科は、「ウチのやりかた」があり様々です。



各市町村長様

お上 漸く過当競争に気づく

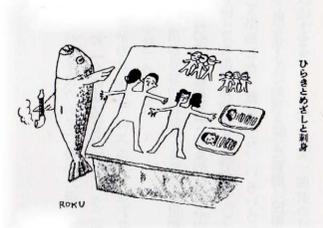
「百姓と菜種油は絞るほどよし」これは徳川吉宗時代の忠臣、勘定奉行の神尾春央の言葉と伝えられています。現在も官職を得ると民を上から目線で監視するのが正義と自認している方がいます。公共予算は庶民の血税である。同じ内容なら一番安い会社を選ぼうというのが入札制度です。物品の納入や、工事物件の場合は使用される器機、材料、施工内容に差違が無いか、チェックされるので倍も価額が違えばオカシナことです。資材には仕様書があり、労務単価も決められているので入札額が似たような金額になるのは当然な事と言えます。一方、特定な意図があつて常軌を逸した落札があれば、過当な下職苛めやその他、大企業の陰謀による不自然な契約等を懸念し公共の入札は最低価額制限が設けられるようになりました。

ところが、ソフト業務である消防設備の点検料金については、最低価額制限を設けず、資質を問わず入札業者を噛み合せたためここ数十年で遂に中には10分の1！程に激落しました。

消防に限らず、物品の入札や工事物件でなく点検、検査、調査料金の入札に最低制限の歯止めをなくして際限もなく価額競争をさせるのはナンセンスです。例を医療や、その他様々な安全設備に関する業務を考えれば一目瞭然です。

健康診断で定時間で50名が限度というのに同じ時間で100名診断させれば同じ診断が出来るでしょうか？旅客機の定期整備を経費節約の観点から十分の一にしたらどうなるでしょう。

典型的な例は学校です。過疎の村の学校は別として、体育館を含め二～三棟あります。消防設備も自動火災報知設備、消火栓設備、非常放送設備、誘導灯、消火器と六種類以上あります。最低二人で1日以上かかります。これを二～三万円で年間契約するという事は異常です。昨今埼玉県内で一挙に5倍10倍の予算を計上し、入札業者の条件を厳しくした上で落札させた公共機関があることを知りました。値上げではなく、珍しく官が上から目線の視点をかえ軌道修正をした英断です。



暴走する【偽】環境ビジネス

ベスト新書

NHKの環境番組は見てはいけない！

武田教授他大勢 ※

CO₂は関係ない

未だに地球は温暖化している！と叫ばれています。北極の氷が年々少なくなっている。小さな氷の上に乗ってシロクマさんが可愛そう！。

ツバルという太平洋の島が地球温暖化のために年々水位が上がり沈みそう！。これらは皆先進国のCO₂の放出が原因だ。と長い間思わされてきました。情報の発信源はNHKはじめ大きなメディアです。

特に権威あるNHKの真面目そうなアナウンサーが言えば大衆はそう思わざるをえないのです(武田教授)。

私だけでなく正義と報道の自由を掲げるNHKや朝日新聞を公平な報道機関であると思うのは当然です。私自身そう思い込んできました。おかしい！気づき始めたのはアトラダムに読み始めた書物やネット情報からです。私はかつて東大とか博士号に盲目的な過剰信頼を寄せていました。江戸時代長屋の住人が大家さんやご隠居の言うことなら間違いないと思い込んでいたのと同じ構図です。

今は朝十分程度、大きな活字の誘導で新聞の拾い読みをし、夜1～2時間TVを眺めるだけの生活を10年繰り返していると日本全国何処へ行っても最大公約数の会話ができます。

それが与えられた情報ばかりでなく自分で選択して本を読むと啞然とする情報に出会います。本当だと思っていたのがウソでウソだと思っていた事が本当ということが、あまりに多いのです。何故そんなことになるのかと言うと二つ理由があります。一つはその為に誰かが得する為です。これは今更でなく歴史上繰り返されてきたことです。AがBを陥れる場合

Aが不利な情報は取り上げずBの情報だけ取り上げ、誇張し、それだけで足りない分は作り出すのです。情報は真実感を増すために感情を刺激し効果的な演出がなされます。昔はロコミでしたが今は情報社会です。

だから、他国を侵略する場合まず放送局を占拠します。メディアの一つの弊害は過剰に不安を煽ることです。不安は人を惹きつけます。



無害な空気でも表現方法で不安をよぶことができます。例えば、福島で一回の呼吸量の空気500ccを分析したら水銀の原子3千億個検出された、というのはどうでしょう！。因みにこれは工場がなかった縄文時代の空気のことです。

①地球温暖化が進んでいる。原因はCO₂の増大だ？

過去の地球にはCO₂は8倍～20倍の時代があった！。

②原発が諸悪の元だった。再稼働はもっての外。福島の放射能問題。対応は現在の表土を移動する除染方法しかない？

酵母、EM菌、その他科学的処理いろいろあるのにその論理、実験データは公表されない

③原発の代替エネルギーの旗手は太陽発電である？

第3エネルギー。フリーエネルギー理論も実験データもマスメディアは無視。

④ペットボトルの廃棄方法は合理的である？

金属と違い高分子材料は復元すると劣化する。何倍もの無駄な経費かけられている

⑤ ダイオキシン問題

殆ど誤報 基礎データの誤り！

⑥ 国の地震、津波対策

20年まえから大地震の予定地として東海地区を特定していたが、学者の予想外に年東日本大地震があった。いまだ体制 派の誰からも反省の声はない！

⑦ さて 富士山

この2～3年で大噴火が無ければ体制派の学者の勝ち

この2～3年で大噴火があれば、東日本大地震を予測した木村教授の勝ち

※以上の見解は武田教授だけでなく池田清彦、渡辺正、薬師院仁志、山形浩生、伊藤公紀、岩瀬正則 その他 youtubeより丸山茂徳、エハン・デラヴィその他海外の学者達がいる。双方の意見とデータを同じ土俵に並べる必要があります。

公平な報道のために国民から一律視聴料金を徴収するNHKが民間放送のピーピングトムと一線を画し、公正な報道をしなければならないのに、特定の組織の意見、データだけを取り上げ、対立する派の意見、データを無視したら問題です。特定の民間企業に偏ることも問題ですが、官尊民卑の官指導の監視社会を是認するような体質も問題です。NH家この一家はいま要注意です。

聖書外典

3000年まえの言葉

殺伐なので、部外者が飛ばし読みをすると旧約の世界の基本テーマは部族間の戦争である。今も似たような声が聞こえるが、常に聞こえるのは神の怒りである。異教徒は殺せ、殺せ、とページ毎に聞こえる。

その中に、おや、時代や社会を超えた声が聞こえます。

ベン・シラ 詩編モードの記述書

VII 女についての戒め

どんな傷でも心の傷よりマシだ
どんな意地悪も女の意地悪には及ばない

意地悪な妻と暮らすなら
ライオンや龍と一緒に住んだほうがよい

良妻は夫を幸福にし
夫の寿命を倍にする

VIII 舌を制御せよ

うわさ話と作り話をする者は呪われよ
悪い噂を聞くと人は心の平安を失い
多くの者が剣によって倒れたが
それにもまして多くの者が舌によって殺された

XIV 酒のいましめ

大酒を飲むことで勇者を気取るな
酒で失敗したものは多いのだ
酒は酔っ払う人の性格を試す
酒はほどよく飲めば生命の力となる
酒なくて何の人生か
酒は人を幸せにするために造られた
酒は時を選んでほどよく飲めば
酒は心を楽ませ 愉快にする
だが飲み過ぎれば苦い思いを味わい
怒りと復讐の心を生む



愚かな者は酒に酔って憤り 自ら害を招く
酒は力を弱め ついには障害を受けるようになる
酒の席ではどたのりの客と争うな
相客が楽しんでいるのを妨げるな
隣人をあざけったり
借金の催促などしてはならない

※因みに外典とはそれぞれの教派、年代により正典から外したもので 旧約外典21、新約外典28程になる。

琥珀は一億年前のタイムカプセル



大昔の生物がどのような姿をしていたか、永久凍土の中から原型に近いマンモスが掘り出されることはあるが、通常は岩の中に化石化した骨で再現される。学者がその骨格を組み立て筋肉をつけ皮膚をつけて想像でその姿を再現する。

恐龍時代の小さな生物が骨格だけでなく三次元的に色彩もリアルに保存されている場合があります。永遠のタイムカプセルと言われる琥珀の中に一億年前の姿で眠っている生きものの姿です。粘性の樹脂に羽や脚をとられ、そのまま化石化した昆虫や木の葉である。

樹脂が化石化して琥珀に成るのは長い年月がかかり、因みに数百万年でまだ化石化しない状態をコーバルという。通常琥珀と称されるのは3千万年から5千万年まで経年変化したもので百年単位のウイスキーやワインの熟成時間とは桁が違うのです。

産地は意外に限られています。大半はバルト海の沿岸でポーランドが世界の生産国とか、日本では岩手県久慈市、銚子市が産地です。琥珀は古い程価値があるようで久慈市のは7千万年から8千万年。海拔の低い銚子市は1億1千万年とか、琥珀では由緒ある産地のようです。古い地層から化石化した骨と違い琥珀の中のリアルな蚊の血液に恐竜のDNAが見つかるかも！これがジュラシックパークの発想の原点でした。

水素水登場

老化(身体がサビる)は毒性酸素のせい

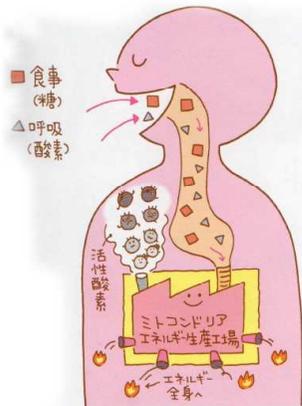
健康や美容に関する器具や薬は膨大です。CMの大半を占めています。それぞれに効果があるはずですが、その中で、最近話題の水素水に関心を持ちました。アルミパックに充填されたものもありますが、事務所に常設して具体的な成果を継続確認しようと水素水生成器アクティブ・ビオII(株)東光高岳を購入しました。どの程度効果があるかこれからまず私が人体実験に入ります。期待される効果は高血圧、糖尿、肥満、ガン、美容効果、アンチエイジング等多岐に分かれます。幾つかの参考書を読み、ネット検索しyoutubeなどでニワカ勉強しました。それを八つあん、熊さんに分かる用語で解釈しました。

何でも人間の体の中にある60兆以上の細胞にはミトコンドリア(以後、**水戸の近藤さん**)というモンがあって、これが全てのエネルギーを作り出している。**水戸の近藤さん**は口から取り込んだ酸素を使い食べ物をエネルギーに変えてくれる人類発生当時からお世話になっている方です。その際、廃棄物が出ます。口に入る前の酸素はマトモですが、

この2%程度の廃棄物の酸素は電子が一つ欠けている為に急に性格が不安定になる。特にヒドロキシラジカルというのはワルでストーカー、殺し屋、強盗で手当たり次第手近の細胞の電子を奪ってしまう。必要なものを奪われた細胞は病気になるか死んでしまいます。それが老化とか諸病の原因になるといいます。ここで大活躍するのが水素の双子

のフミ子さんH₂。これが自然界にある水素です。(単独の水素原子は無くペアの分子)これが登場すると、凶悪犯とすぐカップル成立で無害な水になってしまうというリクツです。

活性酸素から身を守る抗酸化物質としてはビタミンCやEもありますが、水素はワルモンの活性酸素だけを狙うこと、桁違いに小さい忍者で身体の何処にでも即、入り込めるのでこのように靈験あらたかなのだといえます。



谷内六郎&大江健三郎

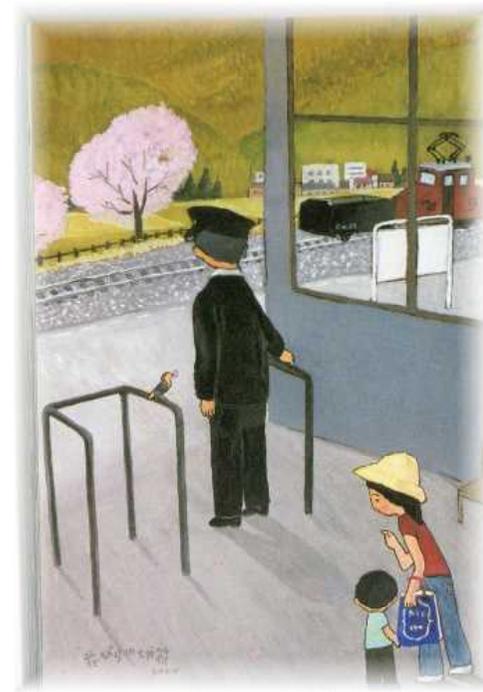
あらためて谷内六郎の絵が気に入り、全部見たくなりました。NETで古本を探し、週刊新潮の全表紙(DVDもあり)版(昭和31年創刊号より昭和56年12月まで延べ1330部を入手しました。(谷内六郎夫妻)



民放に「何でも鑑定団」という番組がありますが私にもお宝があります。古い画像から益子町の陶芸家に特注で作ってもらった埴輪のレプリカとか、私のアイデア品などです。今回入手したこの全集は私のお宝の追加品になります。早速その一部をこの暑中見舞いにも紹介させて貰います。

今回再発見した可笑しいことがあります。[**展覧会** 冬。新年号] S56年11月発行には大江健三郎が末尾に長文を寄せています。谷内六郎は駒沢尋常小学校卒業。(中卒の前の小卒、私の母と同じ学歴です)大江健三郎は輝く東京大学。前者は数々の漫画の賞をとっていますが、後者は何しろノーベル賞作家です。

ただ、大江健三郎と比べて谷内六郎のファンの数は膨大です。しかも没後35年経過しても今なお知らない本を買い集める私のような者もいるのです。何かモノをかく人にとってどちらが羨ましいか。リピーターが少ない偉い方よりも今も絶版ものが高額で取引される谷内六郎の方がよさそうです。ただ谷内六郎の59歳迄の生涯は殆ど病気です。1921年の大正生れですから徴兵検査がありましたが判定基準甲、乙、丙、の丁種にも及ばず軍人失格者です。生涯喘息で精神不安定で自殺未遂もしています。困ったモンです。神様はケチです。何かプレゼントすると代償を要求するのです。魔女は人魚を姫にしましたが声を奪いました。意地悪な魔法使いの仕業ですが「難破した時王子様を救ったのは私です」と手話とか、メールで伝えればとも思いますが作者のアンデルセンは自分の生涯から考え、全てうまくいくストーリーは考えませんでした。谷内六郎に注目したのは谷崎潤一郎、川端康成、三島由紀夫、吉川英治、東山魁夷、横山隆一、北杜夫、宮城まり子等の方達でした。上から目線で、惜しむらくはガクがもう少しあればね、という赤ペンの観想を述べる二流人はいません。みなファンとして評価しています。嬉しいことです。



花びらの切符
谷内六郎 絵



大きな古時計
谷内六郎 絵